

## 2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 八戸市立白銀中学校 ] 担当教諭名 [ 細山 美栄子 ] ( 3年1・2組 72名 )

相手国・地域 [ 台湾 ]

海外学校名 [ Lu Jiang International School ] 担当教諭名 [ Rita Huang ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	SDGsに対する取り組み(身近な課題から)	35

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Clean Energy Saves Marine Lives
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	再生可能エネルギーを使用することで、大気中の二酸化炭素の生成を確実に減らし、海洋生物に害を及ぼす可能性のある CO <sub>2</sub> の割合を減らすことができる。そこから海洋生物の保護につなげよう。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・異国と異文化への理解の深まり</li> <li>・環境問題についての意識の高まり</li> <li>・異なる考え方への対処方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校と相手校の教育施設の環境差が大きく、相手校の動画や情報発信のレベルが高く、驚かされるが多かった。</li> <li>・英語力の差があり、生徒同士のスムーズな意思疎通は難しかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾への興味・関心が高まった。</li> <li>・環境問題への意識が高まった。</li> <li>・ICT技術への関心が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手国の環境問題への取り組みのレベルの高さを知り、自分たちの取り組みや指導方法を見直すきっかけとなった。</li> <li>・英語力の重要性を知った。</li> <li>・異国の学校との協働作業の楽しさを学んだ。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 7月	・海洋酸性化について学び、グループ(5~6人)ごとに再生可能エネルギーの必要性について調べ学習を行った。	・タブレットを使いながら意見交換等を行い、興味・関心が高まった。	総合9
共有 相手と意見交換	8月 9月	・お互いの学校での取り組み状況を確認し、同じテーマで調べた内容を共有し合った。	・台湾の取り組みに興味をもち、進んで台湾政府の指針等を調べる生徒が多くなった。	総合6
融合 メッセージ作成	10月 11月	・オンラインミーティングに向けて共通項目を精選し、準備を進めた。(諸般の事情により中止となり、メールと動画でのやり取りとなった)	・限られた時間で相手に伝えるために英語の練習や発表方法などを考えることができた。	総合6
創造 壁画制作	12月	・テーマ決定 ・テーマにあったスケッチを出し合った。	・海と陸に分けて描くことになったため、海洋生物や海との関わりについて率先して調べ学習を行った。	総合8
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	・振り返り(オンラインミーティング) ・再生エネルギーがもたらす効果を再確認した。	・他者との関わりで自分自身の考えを深めることができた。 ・環境問題について関心が高まった。 ・異文化への関心が高まった。	総合6

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	自己紹介カード作成や紹介ビデオの撮影場面で、文化の違いや表現方法の違いに気が付くことができた。
主体的に考え行動する力	4	タブレットを使いながら、様々な情報を収集し、グループで話し合う場面で、生徒たちの意見交流が活発であった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	再生可能エネルギー、海洋酸性化についての知識を得る段階からのスタートだったため、批判的に考える段階までには達しなかった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	11月のオンラインミーティングは急遽、中止となったがとても楽しみにしており、英語をなんとか伝えようとする生徒が多かった。3月のオンラインミーティングは大変実り多いものであった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	担当生徒だけでなく、学年の生徒全員がアイデアを出し合って完成させようとする意識の高まりを日々の会話から感じることができた。制作段階では、生徒同士が話し合いながら、想いを描くことができた。